

環境

秋

No.361

環境

みんなではじめる
エコマガジン 環境

発行日：平成27年9月16日
発行所：公益財団法人岡山県環境保全事業団
環境学習センター「アスエコ」〒700-9007 岡山市北区下石井2丁目2-10

「環境」へのご意見・ご感想
定期配送のお申し込みは

アスエコまで
TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273

TEL:086-224-7272
FAX:086-224-7273



岡山県環境保全事業団
わたしたちの仕事
環境事業部 事業企画課

参加・交流・協働する場
かんきょうひろば

NEXT STEP

お魚調査隊 in西川



TOPICS
地域を元気に!! エコツーリズム

岡山大学 地域総合研究センター AGORA

倉敷市水島を対象とした
実践型教育の導入(1)

岡山県自然保護センター

自然保護センターへ来てみられえ~

公益財団法人 岡山県環境保全事業団 www.kankyo.or.jp



食べきれぬ量で
残さず完食♪



作りすぎず、
残しすぎず♪



「適度な量を考える」
秋の味覚を満喫!!
無駄に作りすぎることなく、
エコで健康的な食欲の秋にしましょう。

実りの秋、食欲の秋：食べ物
が美味しい季節がやってきまし
た。野菜や果物、お魚など、大
自然からの沢山の贈り物に感謝
して、美味しく楽しい秋を満喫
していきたいものです。
しかし、美味しい食材が溢れ
ているため、つい料理を作りす
ぎて余らせてしまった...という
経験はないでしょうか。実りの
秋に感謝して、賢く生活してい
くためには「料理は食べれるだ
け作る」「残り物を出さない」
ことが大切です。
日本は世界一の食品ロスの国
です。自然の恵みに感謝し、食
べ残しの無い生活を考えてみま
しょう。



読書の秋をアスエコで！ 貸出図書のご案内

●読書の秋に
地球環境について考えを深めよう!

アスエコでは、「環境」に関する図書を幅広く保有して
おり、閲覧や貸出を行っています。読書の秋、環境に関す
る本を読みながら地球環境について見つめ直し、考えを
深めていきましょう。

秋の夜長の一冊を探しに、ぜひアスエコへお越しください♪

閲覧・貸出無料! 詳細はスタッフへ♪



この印刷には
環境にやさしい
植物油インキを
使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



UD FONT
by MORISAWA

かんきょうひろば

行政や環境NPOなどが協働することで知恵やパワーを出し合い、環境活動の可能性を広げる「かんきょうひろば」。その活動とこれからの注目をします。

これまでと今後に向けて

おかやま環境教育ミーティング



指導者の登録・養成講座



環境学習器材の貸出



参加団体・指導者間の交流

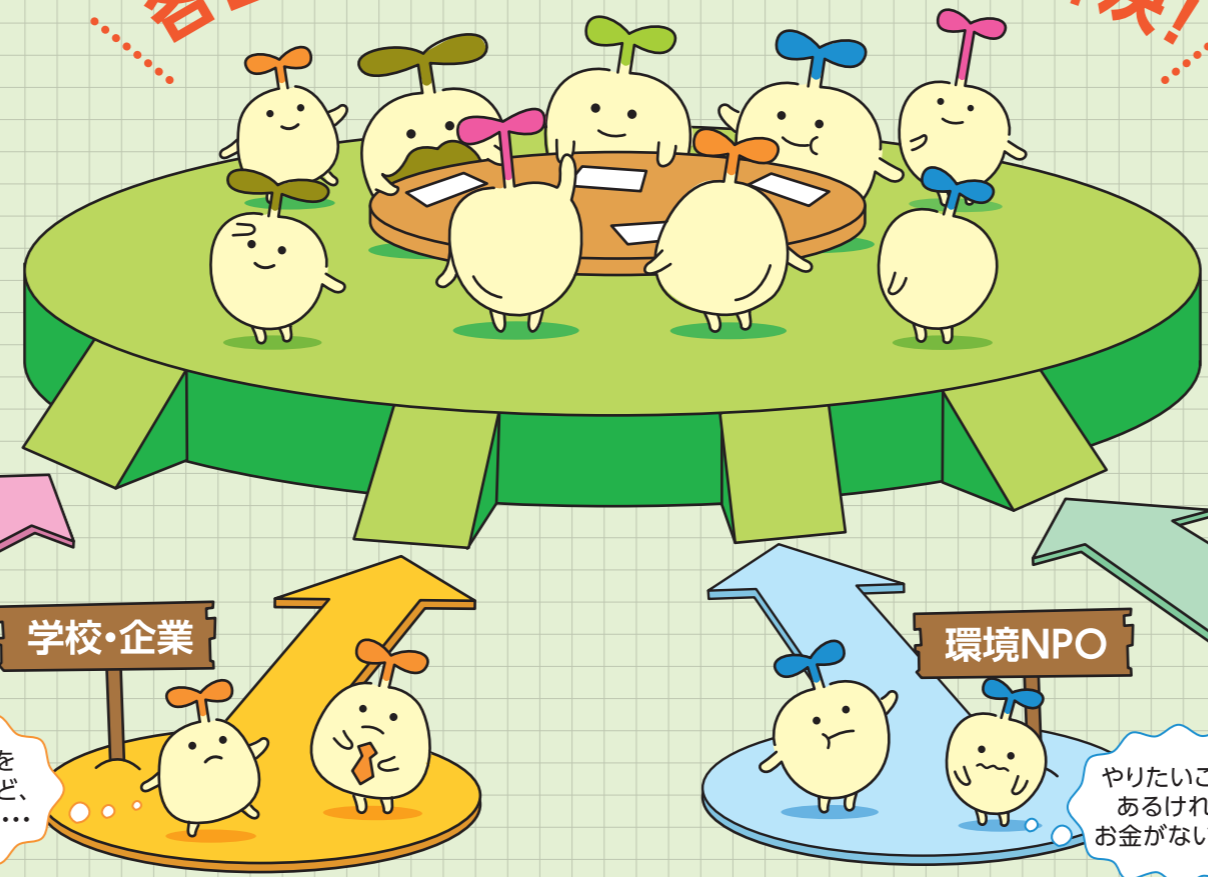


環境学習出前講座

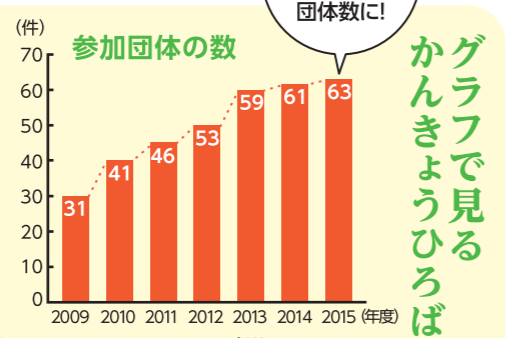
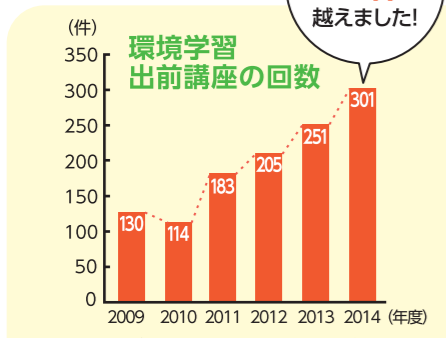


こんな活動をしています!

各団体の悩みを みんなで解決!



行政への事業提案や協働事業



2009年度に比べ、参加団体・環境学習出前講座の件数が増えています!

出前講座や指導者の登録、養成講座の開講、参加団体・指導者間の交流や、環境学習器材の貸出、行政への事業提案、環境教育に携わる人たちが集まる、岡山環境教育ミーティングの開催などを行なっています。

活動内容

かんきょうひろばでは、岡山県で、環境に関わる人たちが集い、学校等を訪れての環境学習

かんきょうひろば(正式名称:岡山県環境学習協働推進広場)は、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現に向け、協働による環境学習を進めるため、行政や環境NPOなどが協働する場として岡山県が設置したものです。みんなで協働することで、個々では難しかった活動ができるようになります。

かんきょうひろばとは...

🎤 次世代を担う学生たちに環境意識を伝えていく

活動を進め、様々な団体と繋がりができたことによって、企業向けに環境学習出前講座のプログラムを検討し、チラシを作る等、新たな取り組みに発展させることができました。また環境経営を推進する企業の社会的責任のひとつとして、制服残布を利用したマイバッグやマイ箸袋の出前講座等を学校や地域のイベントで行っています。真庭市中和地区で市民と協働で行っている「真庭トンボの森づくり活動」は社員と地元の方々との整備の枠を超え、環境学習の場として森づくりの体験にも活用されてきました。そういった活動を通して、より多くの団体・企業や学校、地域の方々と連携し、次世代を担っていく学生たちに持続可能な社会をつくっていくことの大切さを伝えていきたいと考えています。

企業



株式会社トンボ
小桐 登さん

🎤 新しい連携組織として、県の環境レベルをアップしたい



運営
委員長

かんきょうひろば 運営委員長
成田 美和子さん

“かんきょうひろば”ができる以前は、環境系の市民活動をしている人たちの中での交流はありましたが、その他団体や活動との繋がりはあまりありませんでした。その中で、行政や企業等とも連携を行いたいと考えていたところ、県からも声がかかり、設立することとなりました。私自身は運営委員長として、色々なセクターの人が繋がっているこの場が上手くまわっていくためのお手伝いをしています。様々な方のご協力もあり、設立から7年かけて、それまで交流の無かった方たちと繋がることができ、少しずつお互いのことが見えてきました。“かんきょうひろば”の強みは、様々な方が集い、協働し、最終的に県へ施策の提言ができることだと考えています。新しい形の連携組織として、それぞれの企業・団体が更に力をつけ、岡山県全体の環境レベルをアップしていきたいと思っています。

🎤 子どもたちの意識も高まっている

津島小学校の5年生では、総合的な学習の時間に「地球環境プロジェクト」というテーマで学習しており、その中で、講師としてアスエコの方に来て頂いています。地球温暖化について学んだことで、子どもたちも不安を感じており、家庭でも節電や節水そしてエコに対する意識が高くなってきているようです。保護者の方からも「子どもたちが歯磨きの時、水の出っぱなしに気を付けたり、電気をこまめに消したりするようになってきた」というお話を聞いています。子どもたちが30年後、50年後の未来を考えて行動していくために大変参考になるので、今後もぜひお願いしたいです。

学校



岡山市立
津島小学校 5年生教諭一同

インタビュー かんきょうひろば どんな場所?

かんきょうひろばで活動している方に、参加時のキッカケや活動内容、かんきょうひろばの今後について、お聞きしました。

🎤 環境教育をより身近なものとして浸透させたい

“かんきょうひろば”では小学校や学童保育、地域施設に伺い、エコや温暖化についての出前講座を行っています。様々な方に向けてお話をさせていただく中で、自分自身も環境について新たな学びを得るキッカケとなり、また環境配慮を持ってもらうために伝え方の工夫を考える等、講師としても日々勉強になっています。今後も、“かんきょうひろば”の活動をもっと多くの人に知っていただき、町内会や子ども会単位で定例の講座を行う等、環境教育がより身近なものとして、浸透していくお手伝いをしたいと考えています。

指導者



おかやま
エコマインドネットワーク
赤井 藤子さん

🎤 初心を思い出し、それぞれの良い点を発展させる場



指導者

岡山県 森林インストラクター会
宮畑 修治さん

運営委員であると共に、出前講座の講師として、小学校等に向けた自然観察や水辺の生きもの調べ、水質検査を行っています。講師という立場で講座をするにあたって、環境についてだけでなく、世の中のこと等様々なことを調べるので、私自身もたいへん勉強になっています。“かんきょうひろば”には様々な分野の方が集まっていますが、多様化した今の社会で、大切なのは基本だと思います。様々な分野の方がそれぞれの場所で単体の活動をしているとそれがわからなくなることがありますが、皆で集まり、初心を思い出して、それぞれの良い点を発展させていくことができる。今後もそんな場であり続けてほしいと思います。

お話を
お伺いしたのは

行政



岡山県 環境文化部
新エネルギー・
温暖化対策室 室長
片山 圭子さん

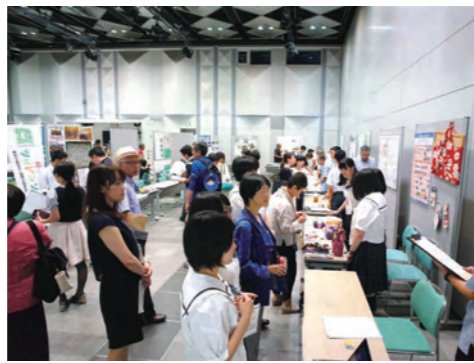
かんきょうひろばの今後
かんきょうひろばでは、毎年
度より効果的な環境学習
事業について検討の上、県に企画
提案いただいています。今年度事
業についても、企業向け出前講座の
実施や資材の整備など、現場の課
題やニーズを踏まえた提案によ
り、充実を図ったところです。
県としては、今後も、意欲ある多
くの方にかんきょうひろばに参画
いただき、立場や世代を超えて情
報や意見を交わせる場として、裾
野を拡げ取組を発展させていきたく
と考えています。キャリアを積ま
れた方の豊富な知識や経験、若い
人ならではの視点やアイデアを、
協働による環境学習の推進に、ぜ
ひ生かしてくださいませよう願
います。



▲第3回おかやま環境教育ミーティング



▲基調講演「協働による環境教育の可能性
～聞き書き甲子園の試み～」



▲ブース展示



▲ワークショップ「協働ミーティング」

参加・交流・協働する場
レポート
Report
かんきょう
ひろば

第3回おかやま環境教育ミーティング開催。 つながるひろがる環境教育の輪

今年も大盛況!!
「第3回おかやま環境教育
ミーティング」

平成27年8月18日に、岡山コンベンションセンター1階イベントホールにて、第3回おかやま環境教育ミーティングが開催されました。当日は159人の方にご来場いただき、つながるひろがる環境教育の輪」というテーマのもと、環境教育

育に関わる人たちが知り合い、つながり、協働するきっかけづくりの場となりました。

持続可能な社会に向けて
協働による環境教育を

基調講演には認定NPO法人共存の森ネットワーク理事長の濹澤壽一氏にお越し頂き、「協働による環境教育の可能性」をテーマにお話いただきました。

また、学校での環境学習の取組を表彰するエコスクール表彰式と企業、学校、環境NPOや市民団体等合計37団体のブース展示が行われました。

コーディネーターには人間科学研究所所長の志賀誠治氏を迎え、参加者同士の交流やワークショップを通して、環境教育に関する協働のきっかけがたくさんつくられました。

環境事業部事業企画課の役割は、
資源の循環に向けた
事業企画と情報発信をすることです。

お話を伺ったのは

環境事業部
事業企画課
課長

おがた しんいち
尾方 新一さん

1990年4月に岡山県環境保全事業団へ入団、環境分析・測定、環境アセスメント、大気測定局の保守管理、廃棄物の受入審査などに従事。2013年4月より現職。趣味は硬式テニス、映画鑑賞。環境計量士。



岡山県環境保全事業団
インタビュー
Interview
わたしたちの
仕事

廃棄物を適正に処理できる 環境づくりをめざして 新しい施設や事業を企画・立案

環境事業部
事業企画課

事業企画課は、「持続可能な地域社会」の実現に貢献するため、資源の循環に向けた新規事業の企画推進と企業間における循環資源に関する情報発信が大きな役割です。

中間処理施設の整備事業など

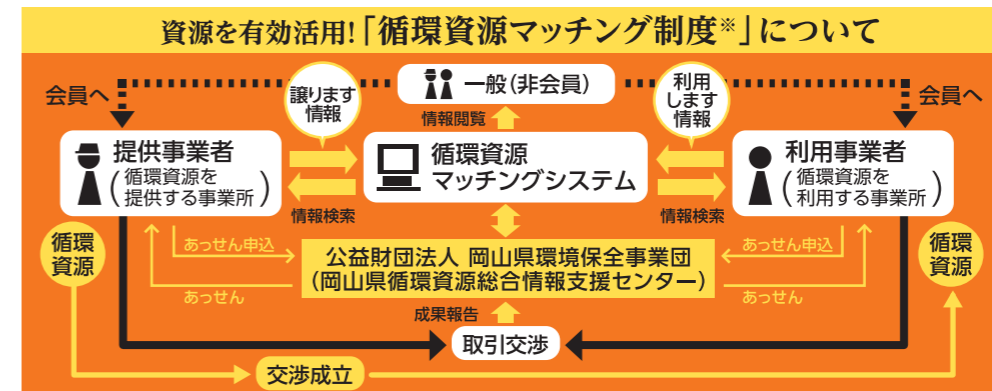
主な業務は、廃棄物の処理施設の企画・立案、廃棄物の循環資源の情報提供、廃棄物のコンサルタント業務、公共建設残土センターの管理運営、

岡山県循環資源総合情報支援センター事務局
平成16年3月、当事業団は岡山県循環型社会形成推進条例に基づき、

環境意識が高まってきた今、リサイクルを含めた廃棄物処理で最も重要なのは、適正処理をすること。これからも、廃棄物を適正に処理できる環境づくりをめざして、新しい施設や事業を企画・立案していくことが、事業企画課の使命であると考えています。

環境緑化事業など。幅広い事業に取り組み事業企画課ですが、特に力を入れているのは廃棄物の中間処理施設(リサイクル施設の整備事業です。燃え殻や煤塵などの産業廃棄物は、今までは埋立処分しかできませんでしたが。これらの廃棄物を、道路の路盤材や建設資材として有効利用できるものに再生するのがリサイクル施設です。埋立処分場の延命にもつながるこの施設は、リサイクル施設の整備が望まれている岡山県で、今後の事業団事業の中核を担う必要不可欠な事業であると考え、施設整備に向けて関係機関との協議・調整をはじめ様々な業務を進めています。

岡山県循環資源総合情報支援センターの指定を受けました。事業企画課は、その事務局を担っています。具体的な業務としては、インターネットなどを活用して
①企業間における廃棄物(循環資源)に関する情報の交換促進
②事業者及び県民への廃棄物等の発生抑制並びに適正な廃棄物(循環資源)の循環的な利用及び処分に関与する情報の提供
③循環型社会の形成に関する事業者及び県民の意識向上を図るために必要な情報の提供
などを行っています。



※循環資源(廃棄物)の有効活用を目的に、不要になった資源を譲りたい側と、これを利用したい側を結びシステム。循環資源の情報を登録・公開することで、譲りたい事業者と利用したい事業者の橋渡しをします。

TOPICS

地域を元気に!! エコツーリズム

岡山県は、「エコツーリズム」の考え方を推進して、地域の文化・歴史を再認識し、県内外の交流による地域の活性化を促していきます。

地域を元気にする 3つのポイント!

エコツーリズムは地域内交流と地域外交流をつくり、さまざまな価値をつくり出します。小さな地域産業を各地につくりまします。



今夏、「アスエコ」で実施した「夏のひみつのエコツアー」の様子①

地域の資源を観光客に伝えていくことで、観光客はその土地と関わりを得られ、また住民たちは土地の資源を再認識し、(1)地域内外との交流による活性化(2)地域の文化・歴史についての教育推進(3)人材発掘や人づくり等の効果が期待されています。

また、環境学習センター「アスエコ」でも、季節毎のスペシャルイベントとして、自然や生きものについて学び体験する、地域団体や親子向けのイベントを実施しており、エコツーリズム・エコツアーを推進する団体の応援をしています。

地域の活性化
都市交流・
地域産業の
参加

エコ
ツーリズムの
地域効果

子どもの
教育

地域(故郷)への
誇り、愛する心

人づくり・
人材発掘

新たな
生きがいの
創出



今夏、「アスエコ」で実施した「夏のひみつのエコツアー」の様子②

「アスエコ」でも
推進団体を応援中!!

お魚調査隊 in 西川

NEXT
STEP

アスエコでは、2008年(平成20年)から岡山市街地を流れる西川で「お魚調査隊」を実施しています。地域の小学生と一緒に西川周辺の環境を調べる一環として、西川に生息する魚たちの捕獲調査を実施してきました。



●お魚調査隊の調査で捕獲・確認できた水生生物リスト

(2011年 春・2014年 夏は雨天により中止)

科名	種名	2015		2014		2013		2012		2011		2010		2009		2008		注1) 希少種	注2) 外来生物
		夏	春	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春			
アユ	アユ																		
ウナギ	ウナギ																		
カジカ	カジカ																		
ギギ	ギギ																		
ケツギヨ	オヤニラミ																		
淡水魚	アブラボテ																		
	イトモロコ																		
	ウグイ																		
	① オイカフ																		
	② カマツカ																		
	カワヒガイ																		
	カワムツ																		
	ギンブナ																		
	ゲンゴロウブナ																		
	コイ																		
	③ コウライニゴイ																		
	④ コウライモロコ																		
	ズナガニゴイ																		
	ぜぜら																		
タイリクバラタナゴ																			
タナゴの仲間																			
タモロコ																			
ヌマムツ																			
ハス																			
⑤ ムギツツ																			
モツゴ																			
⑥ ヤリタナゴ																			
ドジョウ	シマドジョウ																		
	スシマドジョウ(仲動)																		
ナマズ	アカザ																		
	ナマズ																		
ハゼ	⑦ ウキゴリ																		
	ゴクラクハゼ																		
	チチブ																		
	トウヨシノボリ																		
メダカ	⑧ ヌマチチブ																		
	ヨシノボリ類																		
サンブイッシュ	メダカ																		
	オオクチバス																		
テナガエビ	ブルーギル																		
	スジエビ																		
アマオブネ	テナガエビ																		
	イシマキ																		
イシガイ	イシガイ																		
	オバエボシガイ																		
	カタハガイ																		
	ドブガイ																		
	トガササハガイ																		
カワニナ	ニセマツカサガイ																		
	マツカサガイ																		
	カワニナ																		
	シジミ																		
	クサガメ																		
アマガメ	ニホンイシガメ																		
	ミシシパカミミガメ																		
アリノコウサ	ホザキノフサモ																		
	オオカナダモ																		
トチカガミ	クロモ																		
	コカナダモ																		
ヒルムシロ	セキショウモ																		
	ラゴソフソンの仲間																		
エビモ	エビモ																		
	ササバモ																		
ヤナギモ	ヤナギモ																		
	ヤナギモ																		

旭川から分水される西川は、岡山市街中心部を流れ、灌漑用水として豊かな水量を有し、雨天時の雨水排水路としての役割も果たしています。また、西川沿いには西川緑道公園が整備されており、市街地のオアシスとして、市民の憩いの場となっています。

アスエコでは、2008年(平成20年)から毎年、春(5月頃)、夏(8月頃)の年2回、「お魚調査隊」を実施し、様々な魚を捕獲・確認してきました。岡山平野は琵琶湖・北九州地区と同じく淡水魚の種類が豊富で、調査を行うフィールドとして恵まれています。日本に生息している淡水魚、約290種類の内、岡山県内には、約160種類もの淡水魚が生息しており、また希少種が多いことも特徴の一つです。西川での「お魚調査隊」では、7年間の調査で合計41種類の淡水魚を捕獲・確認し、その内16種類が希少種という調査結果が得られています。西川周辺地域は下水道が整備され水質保全が図られていますが、西川で空きカン、空きビン、ペットボトルなどを目にする事もまた事実です。西川の流れやそこに棲む魚たちを見つめながら、この豊かな西川を次世代に残していくために必要な事、私達ができる事には何かあるのか... 思いを巡らせてみませんか。



▲お魚調査隊 調査風景

調査結果

7年間(13回)の調査で、
合計41種類の淡水魚を確認!

そのうち16種類が希少種!

毎回の調査時に
以下の8種類の淡水魚を確認しています!

- ① オイカフ
- ② カマツカ
- ③ コウライニゴイ
- ④ コウライモロコ
- ⑤ ムギツツ
- ⑥ ヤリタナゴ
- ⑦ ウキゴリ
- ⑧ ヌマチチブ

※純淡水魚、通し回遊魚、周縁性淡水魚の合計
(1)高橋憲治(2015年)「くらべてわかる淡水魚」山と溪谷社、127pp
(2)岡山県生活環境課 自然環境課(2009)「岡山県野生生物目録2009」岡山県、378pp



■アミタケ

■ルリタテハ

■ハツタケ

■フクロウ

■ツリフネソウ

■ヒガンバナ



■スイラン

■ウラナミシジミ



■アキグミ(果実)



■ミズトラノオ



■キタテハ



■オオユウガギク



■アキアカネ



■リュウノウギク



■ルリビタキ(オス)



■オミナエシ



■キキョウ



■ススキ(オバナ)



■カワラナデシコ



■ハギ(ヤマハギ)

自然保護センターへ来てみられえ～

9月～12月には、こんな生きものが見られるチャンス!一緒に探してみませんか?

秋の七草

自然保護センターニュース 中学生が職場体験に 来てくれました!

7月23日から24日にかけて、地元の中学生在が職場体験に来てくれました。タンチョウ飼育に関係するお仕事を中心に大奮闘!タンチョウの餌やりや掃除、切羽のお手伝い、ブログの記事作成など、2日間でさまざまな仕事を体験してもらいました。

★体験した感想★

これからの生活で自然を大切にしたり、環境問題について考えることにつながりました!



岡山県自然保護センター
☎0869-88-1190 〒709-0524 和気郡和気町田賀 730
休所日/毎週火曜日及び祝日の翌日、年末年始
開所時間/9:00～16:30 入場料/無料

ホームページ <http://opnacc.eco.coocan.jp>
ブログ <http://blog.canpan.info/sizenhogo-center-01/>

参加費は 他にもこんな生きものや 全て無料!! 植物を観察できます!

その時期に見られる様々な生きものを観察する「初心者のための自然観察会」を開催!予約なしで、どなたでも気軽に参加できます。

時間 10:00～12:00 (9:50集合) 集合場所 センター棟

10/4 (日)	赤とんぼを探そう! ゆうや～け、こやけの赤とんぼ～♪センターにはどんな赤とんぼの仲間がいるかな?見分け方といっしょに、赤とんぼの今について教わりましょう!	
10/18 (日)	かまきりの生活 センターにはどんなかまきりの仲間がいるのでしょうか。見分け方といっしょに、驚きの裏話も教わりましょう。	
11/8 (日)	どんぐりと果実 秋はみりの季節。ツルメモドキ、ナナミノキ、どんぐりなどを観察しながら、鳥などの動物との関係も考えてみましょう!	
11/29 (日)	池のまわりの野鳥 センター棟前の“上池”をぐる～っとまわって身近な野鳥を観察しましょう。カルガモ、エナガなどの定番の野鳥がフィールドスコープ越しにグッと近づきますよ。	

岡山大学 地域総合研究センター アゴラ AGORA



岡山大学地域総合研究センター AGORA(アゴラ)
平成23年11月、大学と都市・地域が協働して創造する美しい「学都」構想具現化のために設置されました。地域の自立と創造的発展に貢献する岡山大学たり得るため、リージョナルセンターの中核として地域連携事業に取り組んでいます。

生の声に触れて学ぶ
地域総合研究センターは平成26年度から公益財団法人水島地域環境再生財団(通称みずしま財団)の協力を得て、岡山大学が大学教育改革の看板に掲げる実践型教育の第二号として教養教育科目「倉敷市水島から学ぶ地域社会と環境」を開設しました。二年度となる今年度は昨年度の環境を広くとらえて学ぶ授業内容から、より水島という地域に焦点を絞り、水島大気汚染公害とその克服に關して、多様な立場で公害に關係する方々のオムニバス講義と、現地に赴き学ぶフィールドワークで構成しました。今年からフィールドワークの回数を三回に増やしたことで授業の回数は減ったものの、学生たちが水島へ訪れることで、その地域にある生の声に触れる機会を増やすことが出来ました。

授業では、みずしま財団による公害の概要や患者の方のQOLを導入に、公害患者さん・コンビネート企業や倉敷市行政で環境対策に關わってこられた方々・また公害訴訟原告弁護団の事務局長・水島商店街や黒

※QOL…… QOL(Quality of Life)は、「生活の質」と訳され、人間らしく、満足して生活しているかを評価する概念。

vol.2 倉敷市水島を 対象とした実践型教育の導入(1)



水島へ出向き公害患者の方々のお話を伺いました。学生たちは真剣に耳を傾けていました。

崎漁協の皆様方と、様々な立場から水島の大気汚染公害にまつわるお話をさせていただきました。このオムニバス型の講義は、それぞれの立場に立ってみるとつの問題がどのように姿を変えるのかを感じてもらおうことが狙いです。フィールドワークでは水島に足を運び、直接自分で地域の人々の生活を感じ取ってもらいました。商店街の方々や語る過去ののぎわいからコンビネート企業の地域への経済効果を気づく学生もいれば、漁業体験ではハマグリやアマモ漁場の変化に驚いた学生もいます。特に、目の前で公害患者の方々や苦しむ息の中から御病状や社会的な苦難について語られた回は、学生たちの心を動かしたようでした。

授業中に、この水島の問題は原子



Profile

岡山大学
地域総合研究センター
准教授

石丸 香苗
Ishimaru kanae

京都大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学。農学博士。専門は森林科学と地域研究。ラテンアメリカやアジアを中心に農村部の人の活動と自然環境のインターアクションについて研究を行っている。

力発電所や米軍基地の問題と構造的に似ているところがあるのではなにかと指摘した学生がいました。その通り、この授業は水島に関する知識を得ることだけを目的とした授業ではありません。この授業で得た経験によって、与えられた情報を鵜呑みにせず多様な側面から検証し、自身で感じ、判断して意見を醸成する力を付けてもらいたいと願っています。この授業で触れたり知ったことを通じて、学生たちが社会に出たときに、過去に公害が起こった背景と同じ構造が生じることを未然に防げる人材となつてほしいと願っています。

【環境360号 岡山大学地域総合研究センターAGORA】の文章に誤りがございました。お詫びして訂正致します。
●本文2段落目、前から16行:【誤】356日→【正】365日 ●写真キャプション:【誤】ESD(みずしま財団さんとのポスターセッション)の様子。→【正】「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」(みずしま財団さんとのポスターセッション)の様子。